

「総合」特集にあたって

香川大学一般教育主事

須 永 哲 雄

香川大学一般教育研究第31号特集 Faculty Development を発行して早くも1年が経過した。この一年間を振り返ると、一般教育学会による全国規模のFDアンケート調査も実施され、その報告が同学会誌に掲載され、いままたFD関連活動の実態調査も進められつつある。香川大学一般教育部も特集発行後、具体的なFD活動を展開するべく研究活動を積み上げてきた。今回の特集はFD関連活動のひとつとして、大学教育ことに一般教育の改善充実をめざし、「総合」を主題として編むこととなった。「総合」と言う視点は、学術研究においても、大学教育においても、今日益々重要性を帯びてきた課題である。「総合科目・総合コースの研究」は一般教育学会の研究課題としても取り上げられているが、我々は本課題を選ぶに当たり、「総合」や「統合」の概念・方式・類型の整理など理論的問題にも遡りつつ、多角的・根底的な吟味・考察を意図し、関係者の間に論議と実践の共通基盤を確立することを活動目標とした。

折しも、香川大学教育学部は総合科学課程の新設を目指し、大学教育としての一般教育と専門教育の新たな関係が模索されつつある。我々のFD関連活動は未だその緒についたばかりであり、目標とするところとは程遠い道程にある。しかしながら、我々は研究活動を地道に積み上げて前進する以外に方策は無いと考える。

「総合」特集の発刊に向けて一般教育研究会の継続的開催に努力された一般教育研究室員、委員会活動を重ね論文執筆に当たられた「特集」研究委員会の各位に感謝するとともに今後の「総合」研究がより総り多いものになることを願って発刊の辞とする。